

Stay Home: 私の日本百低名山の体験（5） 真の社会人としての登山・ハイク・ウォーク！

70才になり真の社会人となってから HC ハイキングクリーン、鎌倉風致保存会、今泉台町内会、NPO TSKI タウンサポート鎌倉今泉台等の団体に入り、登山と言うよりハイキング、ウォーキングに転換した。詳細は HC・40 周年記念誌、及び NPO TSKI の HP をご覧下さい。

でも下記に参考書と概要を下記します。

1992 年 東京の山百山・50 コース 山と溪谷社（趣味団体編）：コース別で1回で何山も登るのに適

1998 年 関東の山あるき 100 選 昭文社：適期、標高地図が便利

2000 年 関東周辺ハイキング・56 コース 昭文社：写真、諸案内多く、高齢者ハイク向き⇒43 山、済

2004 年 関東周辺・駅から駅までハイキング・55 山 山と溪谷社： 標高地図が便利⇒19 山、済

2004 年 神奈川県の子山・59 山 山と溪谷社：適期が便利 ⇒35 山、済

2006 年 深田クラブ選定・日本 200 名山を登る 昭文社：日本山岳会選定の 300 名山もある。

1992 年（番外）六十歳からの日本三百名山 東京新聞（田中三郎）：15 年間で 300 座を踏破したスーパーお爺さんのお話

特に印象深い、また行きたい山は先ず**苗場山**。1泊2日のツアーハイクで風邪を押して参加した百名山の1つ。頂上小屋に雑魚寝で朝起きた途端に脚が釣り歩けなくなり救急ヘリをお願いしたが、その程度では不可、と。有名な高波呉策の息子さん・登山ガイドに助けられながら何とか無事に小赤沢温泉に下山し温泉とビールで痛みが略とれた思い出。

次に**栗駒山**は町内のハイク友団体で1泊2日の紅葉真っ盛りの旅を楽しみました。

また**秋田駒ヶ岳**は矢張り秋のツアーハイクで、青い火口湖と滝雲が忘れられません。

最近行ったのは**礼文島&利尻島の花ハイク**。2019年の夏、どうしても見たくて2度目の正直、堪能できました。～既に『1人ボッチの日本百名山・利尻島』に詳細を投稿済です。

オマケに～特に冬には自宅2階から見える天園ハイキングコース・**鷲峰山の日の出**、30分～1時間で時々往復する散在ガ池公園・尾根道からの**富士山と六国見山**に落ちる夕陽はコロナ禍を忘れさせ心が癒されます。足腰を庇いつつも、山歩きと景色・山野草及び緑の保全活動は小生にとって心身共に健康の源です。



苗場山 2145m：頂上小屋から見たガスが掛かる池塘群



栗駒山 1627m：紅葉盛り（ブナが日照りでダメ）



秋田駒ヶ岳：火口湖外周を回って男女岳に



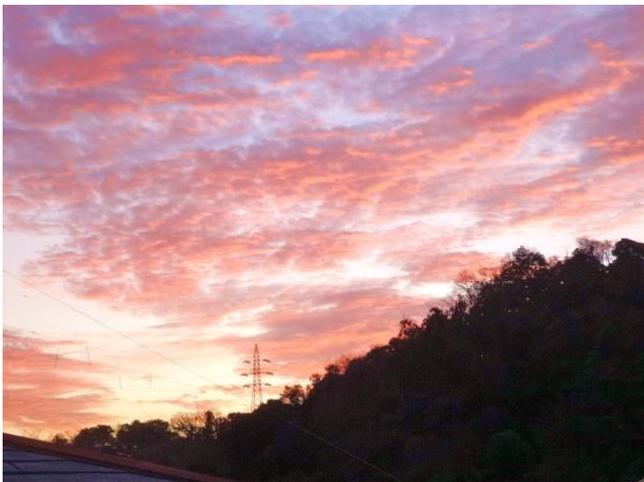
火山礫の下山路に行く～滝雲を臨む



礼文島：スカイ岬から野の花越しに紺碧の海を臨む



ハイク道でミンガワソウが真っ盛り



鷲峰山：日の出 自宅から 16,12,29 6時40分



富士山（左）と六国見山の夕陽：今泉台・散在ガ池公園